



鞆の浦学園だより



2019年(令和元年)6月5日

鞆の浦学園らしさを生み出して・・・

鞆の浦学園開校から2ヶ月余り。職員だけでなく、子どもたちの手で少しづつ鞆の浦学園らしさが生み出されています。1年生から9年生までが共に過ごす校舎には、子ども達の頑張りや互いを認め合う姿がいたるところに掲示され、一人一人が輝ける環境をみんなでつくっていこうとする姿が鞆の浦学園らしさの一つになっています。

学校図書館やEnglish Roomも子ども達が楽しく学習できる場にと、それぞれの担当職員も工夫を凝らしながら環境づくりに取り組んでいます。



図書館入り口で子どもたちを迎えてくれるカエルのぬいぐるみ。子ども達はいつの間にか思い思いの名前で呼んでいます。



心を育む 学校図書館

6月4日 開館



子ども達が待ちに待った図書館の開館。本を手に取る表情が輝いていました。



毎日、子ども達が本に親しめるようにと手に取りやすい配置を考えたりラベルを貼ったり・・・。佐々木先生ありがとうございます。

子ども達の「楽しい」が聞こえてきそうです！

掲示物には子ども達の互いの頑張りを認めるエールであふれています！



昇降口の掲示板に紫陽花が咲きました。井口先生に作り方を教わりながら1~4年生の子ども達が休憩時間に作ってくれていました。自分達の手で学校を飾れるってすてきです！



大休憩になると南校舎1階のふれあいホールから琴の音が聞こえています。「鞆ならではだな」と心が和みます。日増しに音色が澄んできれいになっていきます。7月末の井田小交流での演奏が今から楽しみです。

先日大阪の大学から校舎の見学に来られた方が、「なんてすばらしい教室！ここにいるだけで楽しく学べる子どもたちの姿が浮かんでくる。こんな場所で活動できる子ども達は幸せですね。」と大絶賛！！英語担当の上野先生やALTのアンドレ先生のセンスが光るEnglish Roomです。



センスが光る！English Room

English Roomでは、5年生~9年生が外国語活動や英語の学習を行っています。上野先生とアンドレ先生は、楽しく分かりやすい授業を工夫し、子ども達は英語の時間が大好きです。

